

こどもが相談しやすい環境づくりに向けた機運醸成等を目的として、文部科学省及びこども家庭庁の取組みを周知します。

事 務 連 絡
令和7年7月22日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課
附属学校を置く各国立大学法人担当課
附属学校を置く各公立大学法人担当課
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所轄する構造改革特別区域法第12条
第1項の認定を受けた各地方公共団体の担当課

御中

文部科学省初等中等教育局児童生徒課

こどもが相談しやすい環境づくりに向けた取組みについて（周知）

文部科学省においては、不登校、いじめや子供の貧困、ヤングケアラー、虐待、事件事故など児童生徒を取り巻く課題に対して学校が組織的に対応し、必要に応じて関係機関と連携できるようにするため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置や24時間子供SOSダイヤルの設置等により各自治体における教育相談体制の充実に資するよう支援しているところです。

また、この度、こども家庭庁の「こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム」において、こども・大人・社会のそれぞれに対して伝えたいメッセージ等を盛り込んだ「こどもの悩みに寄り添える社会に向けて（中間報告）」を取りまとめ、大人及びこども向けの電子ポスターや本取組に関するショート動画を作成し、こども家庭庁のウェブサイト及び公式SNSアカウントに掲載されたところです。

ウェブサイト及び公式SNSアカウントについてこども家庭庁より周知依頼（参考資料1）がありましたので、教育委員会等においては、こどもの悩みに寄り添える社会に向けて不安や悩みを一人で抱え込むことがないよう、引き続き、学校等における教育相談体制の充実やポスター等を活用した機運醸成に努めていただきますようお願いします。

加えて、「児童生徒性暴力等の防止等に関する教師の服務規律の確保の徹底について」（令和7年7月1日付け7文科初第904号初等中等教育局長通知）¹においても、事案の早期発見・対応のため、引き続き、被害児童生徒やその保護者

¹ [児童生徒性暴力等の防止等に関する教師の服務規律の確保の徹底について（通知）](#)

等が安心して相談できる環境の整備などに取り組むよう求めているところであり、1人1台端末を活用した相談窓口の整備・周知（参考資料2）に努めていただきますようお願いします。

これらのことについて、都道府県・指定都市教育委員会にあっては所管の学校及び域内の市区町村教育委員会等に対して、都道府県にあっては所轄の学校法人及び私立学校に対して、附属学校を置く国立大学法人及び附属学校を置く公立大学法人にあっては附属学校に対して、構造改革特別区域第12条第1項の認定を受けた地方公共団体に対しては認可した学校に対して、周知を図るよう、特段の御配慮をお願いします。

なお、各教育委員会において所管の学校に対して周知する際には、例えば、各学校において取り組む必要がある事項を整理して、教育委員会主催の研修等で周知を図るなど、効率的・効果的な周知に取り組んでいただくようお願いします。

参考資料1：こどもが悩みを打ち明けられる環境づくりに向けた広報活動への協力について

参考資料2：1人1台端末を活用した相談窓口の整備・周知について

（参考情報）

- ・ 子供（こども）のSOSの相談窓口（そうだんまどぐち）：文部科学省
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



- ・ こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム：こども家庭庁
<https://www.cfa.go.jp/councils/nayami-uketomeruba>



※中間報告及び広報用ポスター・動画

- ・ 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等について：文部科学省
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/mext_00001.html



【こども家庭庁 SNS 等公式アカウント】

X [こども家庭庁 \(@KodomoKatei\) - X](#)

YouTube [こども家庭庁 - YouTube](#)

Instagram [こども家庭庁 \(@kodomo.katei\) - Instagram](#)

(本件連絡先)

文部科学省初等中等教育局児童生徒課

生徒指導室生徒指導第二係

電話番号 03-5253-4111 (内線 3289)

03-6734-3289 (直通)

e-mail s-sidou2@mext.go.jp

事 務 連 絡
令和 7 年 7 月 22 日

文部科学省初等中等教育局児童生徒課 御中

こども家庭庁支援局総務課

こどもが悩みを打ち明けられる環境づくりに向けた広報活動への協力について（依頼）

平素よりこども施策の推進について御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

こども家庭庁では、全てのこどもが健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか社会」の実現を目指し、不安や悩みに直面し、つらい思いをしているこどもたちが思いを打ち明けやすい環境をこどもの目線に立って作るために、昨年 11 月、庁内に「こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム」（以下「プロジェクトチーム」という。）を発足させました。

プロジェクトチームでは、令和 7 年 3 月末までにこどもや相談・支援団体、自治体など、延べ 27 の団体等との意見交換を行い、同年 5 月 23 日に意見交換等の内容を踏まえ、こども・大人・社会のそれぞれに対して伝えたいメッセージ（別添 1）等を盛り込んだ「こどもの悩みに寄り添える社会に向けて（中間報告）」（以下「中間報告」という。）（※ 1）を公表したところです。

今般、こうしたメッセージ等を広く社会全体に発信し、機運醸成を図ることを目的として、大人及びこども向けの電子ポスター（別添 2）を作成し、こども家庭庁ウェブサイト内のページ（※ 1）に掲載しました。併せて、本取組に関するショート動画も作成し、上記のウェブサイトに掲載するとともに、こども家庭庁公式 SNS アカウント（※ 2）にも掲載しています。

貴省におかれは、各学校等において本ポスターを積極的に御活用いただくとともに、ショート動画についても広く周知していただけるよう、教育委員会等に対する本件取組の周知について、御高配を賜りますようお願い申し上げます。

※ 1 中間報告及び広報用ポスター・動画については以下リンク先を御参照ください。

<https://www.cfa.go.jp/councils/nayami-uketomeruba>

※ 2 こども家庭庁 SNS 等の公式アカウントについては以下リンク先を御参照ください。

X [こども家庭庁 \(@KodomoKatei\) - X](#)

YouTube [こども家庭庁 - YouTube](#)

Instagram [こども家庭庁 \(@kodomo.katei\) - Instagram](#)

※3 ショート動画については、8月末までの間に週1回、計6本の動画を公開する予定となっています（ショート動画は、三原こども政策担当大臣、プロジェクトチームメンバーのほか、著名人からコメントを寄せていただく予定です。）。動画の二次利用は不可となっていますので、動画を周知していただく際には、※1のこども家庭庁ウェブサイトのURLの共有や、※2のこども家庭庁公式SNSアカウント投稿の引用・リポストにてお願いします。

（本件に関する問合せ先）

こども家庭庁 こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム

〒100-6090

東京都千代田区霞が関3-2-5

霞が関ビルディング 20階

mail: kodomononayami-pt@cfa.go.jp

こどもの皆さん、大人の皆さん、社会に伝えたいこと

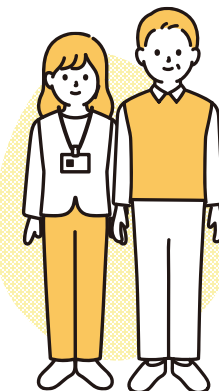
こどもの皆さんへ

- 相談することは悪いことでも、恥ずかしいことでもない
- 味方になってくれる大人はきつという、相談できる相手は親や先生だけではない
- 友達から相談されたときは秘密を守る・相手のことを考える
受け止めきれないときは周囲の大人に相談を



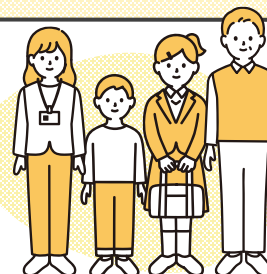
大人の皆さんへ

- まず耳を傾ける、こどものサインにアンテナを張る
- こどもを一人の人間として尊重する
- こどもの希望を確認し、こどものタイミングを大切に
- 秘密は守る



社会へ

- 身近な大人一人一人の行動で、善意の輪を地域に広げる
- 地域に信頼できる大人を増やし、安心できる居場所をつくる



ポスターのコンセプトについて

こども向け



こどもに対して、相談できる相手は地域の大人や相談窓口など、多様であることを伝える。

大人向け



こどもが「言葉にできていること（白い吹き出し）」と「言葉にできていないこと（青い吹き出し）」を配置し、こどもの周囲の大人に対して、こどもには言葉に表出されない思いがあることを示し、身近なこどもへのアンテナを張ってもらうことを伝える。

※ こども家庭庁ウェブサイトでは、A1及びA3サイズのPDFデータを掲載しております。また、A4及びA5サイズや横型のPDFデータにつきましても、7月下旬以降、同ウェブサイトに掲載を予定していますので、用途に応じたものをご活用ください。

1人1台端末を活用した相談窓口の整備・周知について

- 児童生徒や保護者が悩みを誰かに聞いてほしいと考えた際に、すぐに相談・支援に繋がることができる体制を整備することが重要です。これまでも、
 - ・ 1人1台端末を活用し、子供のSOS相談窓口を集約して周知することや、
 - ・ その際、各種相談窓口の情報が、相談支援を必要とする児童生徒に確実に届くよう、1人1台端末を活用する際のポータルサイトや、ブラウザのお気に入り機能等を活用して、各種相談窓口につながられるようにすること等を周知してきたところです。
- 各教育委員会におかれては、今般の性暴力事案や最近の生徒指導上の様々な状況も踏まえ、児童生徒やその保護者が日常的に安心して相談できる環境が整備されているかどうかについて再度確認するとともに、引き続き、必要な環境の整備と、その周知をお願いします。

<相談窓口の整備・周知の具体例>

- ・ 児童生徒が常日頃からアクセスする頻度の高いブラウザの初期ページやポータルサイトなどへの掲載
- ・ 相談窓口に関する情報のブックマークや、端末のデスクトップなどへの掲載
- ・ 1人1台端末から直接相談できる相談窓口（チャット、心の健康観察など）の整備・周知 等

事件・事故の発生時や休暇前などの相談需要が増える時期においては、改めて児童生徒や保護者に必要な情報が届くよう、再度周知徹底をお願いします。

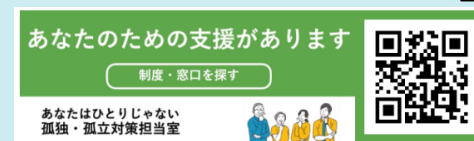
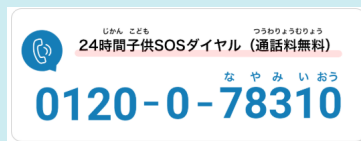
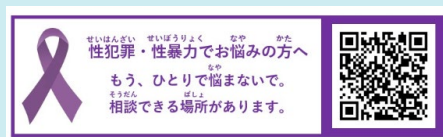
- また、相談があった場合には、各教育委員会において、警察等の関係機関と迅速に連携するなど適切に対応するようお願いします。

<子供のSOSの相談窓口>

文部科学省ウェブサイトでは、下記のような、性犯罪・性暴力、不登校など、お困りごとに対応可能な窓口を一覧化しています

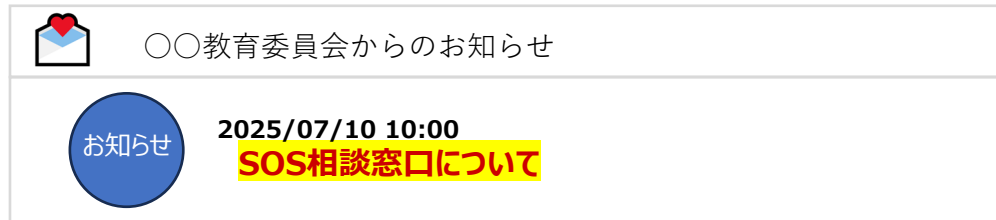


こちらからアクセス





1人1台端末を活用した相談窓口の周知例

●学習e-portalのお知らせへの掲載



子供のSOS相談窓口



こちらからアクセス

いじめで困ったり、ともだちや先生のことによって不安や悩みがあったりしたら、1人で悩まず、いつでもすぐ相談してください。

- 【自治体のSNS相談】[QR]
- 【民間の相談窓口】[QR]
- 【24時間子供SOSダイヤル】
なやみいおう
0120-0-78310（通話料無料）

●ブラウザのブックマークへの掲載機能



●デスクトップアイコンとして相談窓口を掲載

